

# 「結核菌のような病原菌の郵送方法」

2000.9.18

## 郵送方法：

- 1) 小川培地発育菌（培養後数ヶ月以内のもの）を準備する。
- 2) 培地の水分が漏れないように滅菌されたピペットで無菌的に凝固水を捨て、ゴム栓はビニールテープなどでシールする。  
小川培地のゴム栓には切れ目があるため水分を除かないと結核菌液が漏れることがある。
- 3) 外部からの衝撃による破損や培地と培地が擦れ合うことを防ぐため脱脂綿などクッションになるもので1本ずつ包む。（培地をビニール袋などに入れてから包む。）
- 4) 培地を缶に入れ隙間に新聞紙などを詰める。（缶はコーヒー・海苔・お茶などの金属製の筒なら使用可能）
- 5) さらにその缶を紙(または別の缶)の箱に入れる。（万国郵便条約による二重包装）
- 6) 「宛先」と「郵送元」の住所は施設名とその菌株を取り扱う責任者名にする。
- 7) 『危険物・結核菌（又は、抗酸菌）』と箱に朱記する
- 8) 『Infectious Substance』のラベルを箱に貼る。
- 9) 郵便局から書留（又は、ゆうパック）として出す（お届け通知「必要」とする）
- 10) 送付に際し、下記情報がわかるようにする。
  - a) 結核緊急実態調査（慢性排菌者調査）
  - b) 検体の個人識別情報（縣市コード、保健所コード、整理番号）

宛先：〒204-8533 危険物・結核菌（抗酸菌）  
東京都清瀬市松山 3 - 1 - 2 4  
結核予防会結核研究所 結核緊急実態調査担当者 宛

郵送方法の問い合わせ先：鹿住  
Tel: 0424-93-5773  
Fax: 0424-92-4600  
E-mail: kazumi@jata.or.jp

## 『Infectious Substance』のラベルを切って箱に貼る



(1)



(2)



(3)



(4)



(5)

